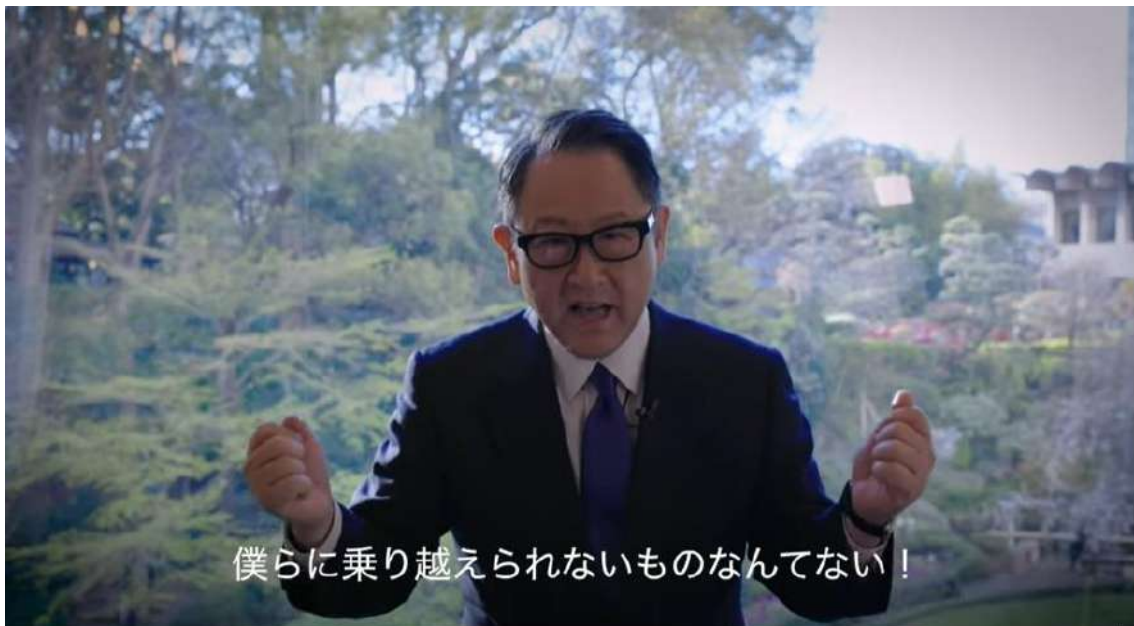


トヨタグループ、医療現場および医療用品への支援を表明

トヨタ自動車ならびにトヨタグループ各社は、現在、社会的な最優先課題となっている感染拡大の抑制や医療現場の支援に向けて、自動車産業が持つ製造・物流面でのノウハウや、グローバルに広がるサプライチェーンを活かし、様々な側面から対策を検討し、迅速に取り組んでまいります。主な取り組みは以下の通りとなります。



豊田章男社長が、「乗り越えられないものなんてない」と応援ビデオメッセージを公開した。

医療現場および医療用品に対する支援

医療用フェイスシールド生産

医療現場にて不足する医療用フェイスシールドを、試作型や3Dプリンターなどで製作し、医療機関へ提供してまいります。具体的には、トヨタ自動車貞宝工場にて、試作型による医療用フェイスシールドの生産準備を進めており、週500～600個程度から、生産を開始する予定です。加えてグループ企業でも生産が可能か検討を開始しております。

トヨタ生産方式（TPS）活用による医療機器メーカーの生産性向上への協力

政府による日本自動車工業会（自工会）を通じた要請に基づき、医療機器メーカーによる人工呼吸器を始めとする医療機器の増産に対し、トヨタ生産方式（TPS）のノウハウ活用による工程改善など、生産性向上への協力を検討しております。トヨタ自動車を中心にTPS支

援チームを結成し、医療機器の大幅な増産などで困りごとを抱えている企業にすぐに支援に入れるよう、現在、製造者側を含めた関係各所と具体的な対応について調整を開始しております。

軽症の感染者移送に対するサポートの検討

東京都内を中心とした感染拡大地域において、軽症の感染者を他の医療機関や待機施設、自宅などに移送する際の運転者の感染を抑えるために、JPN TAXI 等を中心に、車室内での飛沫循環を抑制する方法について、検討を開始しています。

サプライチェーンを活用したマスクなど衛生用品の調達支援

政府による自工会への調達協力要請を受け、トヨタ自動車のサプライチェーンを通じ、医療用マスクや防護服、体温計など衛生用品の調達支援に向けた取組みを進めています。

医療機関にて活用可能な備品の供給

病院向けの簡易ベッド台、消毒液容器、医療機関等での簡易間仕切り壁など、医療機器以外で必要とされる備品の生産での協力の可能性について、アイシン精機株式会社が調査を開始しています。

治療薬開発や感染抑制に向けた研究支援への参画

治療薬開発や感染抑制に向けた各国の研究支援を目的に、カナダ D-wave 社が進める量子コンピューターの利用サービスの無償提供プロジェクトにデンソーが参画し、利用促進に向けた技術支援を行ってまいります。

また海外においても、医療用フェイスシールド（防護マスク）の生産および寄贈、マスク等の衛生用品の地元医療機関への提供や、TPS のノウハウを活用した医療関連企業における生産・物流面での生産性向上支援、医療機関等への車両提供など、各国・各地域の事業者が中心となり、政府をはじめとする地元の関係者の皆様と連携しながら、可能な支援を検討し、順次対応を進めております。

日本語原文 <https://global.toyota/jp/newsroom/corporate/32232844.html>

